



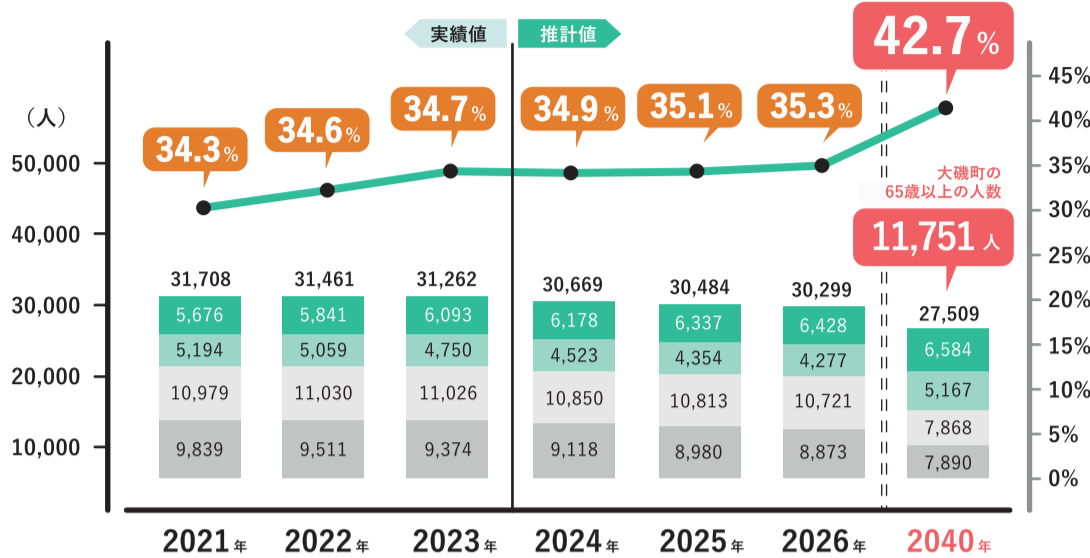
データで見る

大磯町の未来予測

これからの社会は超高齢化、人口減少の時代。
10年後、20年後の未来を覗いてみよう！

高齢者人口と高齢者率の推移と推計

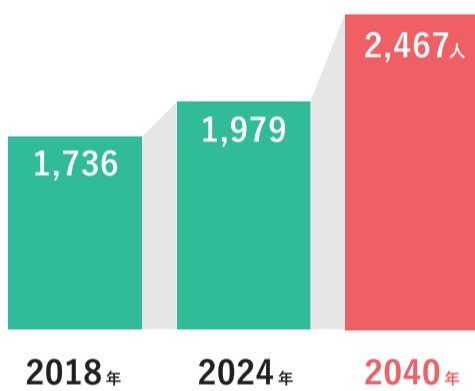
大磯町の高齢化率



大磯町の世代別人口

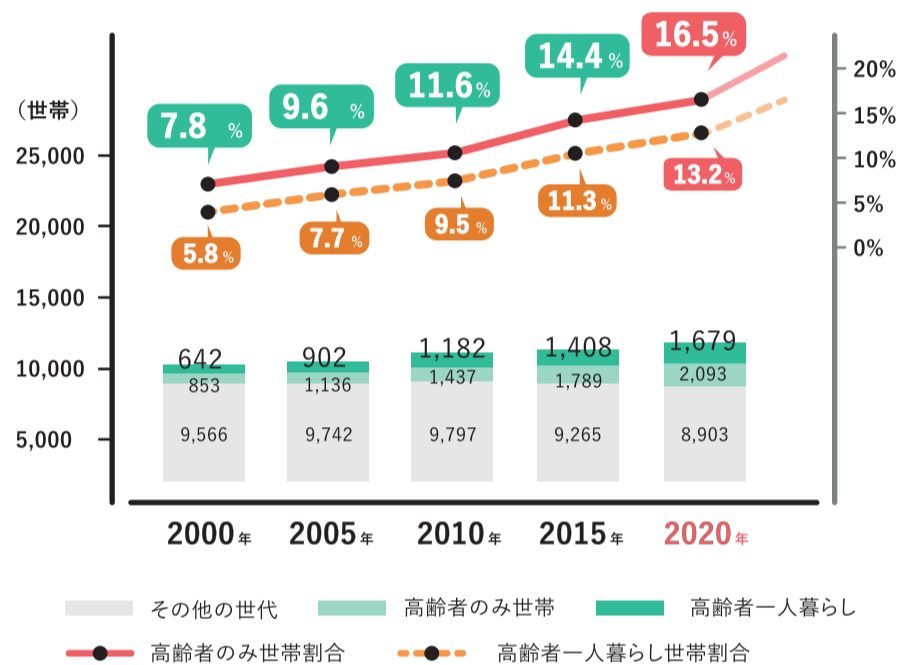
- 75歳以上(後期高齢者)
- 65-74歳(前期高齢者)
- 40-64歳
- 40歳未満

介護保険の認定者数の推移と推計



介護保険サービスを利用するには、まず要支援・要介護認定を受ける必要があります。大磯町で認定を受ける方は年々増加傾向にあり、2040年には2,467人。町民の約1割が要介護・要支援認定となる想定です。

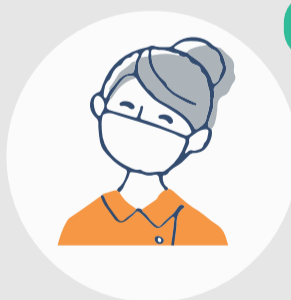
高齢者のいる世帯の推移



※出典：「第九期大磯町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」より

介護・福祉で働く人ってどんな人たち？

あなたはいくつ知ってる？ 意外と知らないそれぞれの職能と役割



ヘルパー

自宅に訪問し、掃除・買い物などの家事支援、食事・着替え・入浴などの身体介護を行う。利用者・家族の生活面を支える上で最も身近で重要な職種。



ソーシャルワーカー

福祉や介護、医療、教育などの業界において、問題や悩みを抱えている人の支援や援助を行う相談役。適切な医療介護サービスに繋げる水先案内人。

ケアワーカー

ヘルパーとのちがいは、ご自宅ではなく通所・一時入所・施設などで身体介護や身の回りの生活支援を行います。施設での暮らしを支える要となる職種。



ケアマネジャー

利用者の相談や心身の状況に応じて、訪問介護やデイサービスといった介護サービスを受けられるようにケアプランを作成し、自治体・事業者・施設などとの連絡調整する司令塔。



Let's Think!

あつたらいいな
こんな
老人ホーム

介護や食事のサービスが受けられるのが「老人ホーム」。
特別養護老人ホームは生活に制限がありますが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅など、最近では様々なスタイルのサービスが生まれてきています。
ないなら、自分たちでつくるのもありかも。



こどもたちが 毎日遊びにくる!

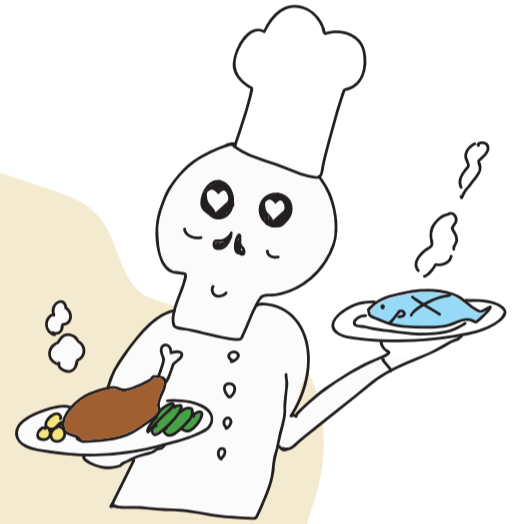
老人ホームなんだけど、なぜか近所の子どもたちが沢山遊びにくる。日中は野球やオンラインゲームを子どもたちとやったり、とにかく忙しい毎日。毎日騒がしくて楽しい暮らし!



友人と一緒に暮らせる シェアハウス型!

気の合う仲間と一緒に暮らせるシェアハウス型も最近が増えてみたい。たまには夜更かしして、夜遅くまで騒げたら、いいなー。

馴染みのお店に 食べに行ける!



健康や消化のしやすさももちろん大事だけど、たまには外食で昔から通っていた馴染みのお店に訪れたり、思いっきり好きなものを食べれる老人ホームとか。



Come Together!

GeeYa:OISO リアル座談会開催!

福祉と介護をテーマにちょっと誰かと喋りたい、まだまだ先だと思っているけど、親の介護や福祉のこと、自分自身の困りごとや準備しておくべきことを聞いてみたい、よくわからないけど、ちょっと興味ある! そんな皆さん、ぜひご参加お待ちしております。

GeeYa:OISO 座談会

日付: 6/15(土)

時間: 15:00-17:00 | 座談会 17:30- | 懇親会

場所: 東光院 海近寺 巣

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯1525

定員: 40名

参加方法

下記のWEBフォームからエントリーください

<https://oiso.life/geeya/>



より良く生きることを考えるための
おすすめ読書本紹介



geeya's Book recommend

夜明けを待つ

佐々 涼子

長く生きるほど、大切な人との別れを経験する回数が増えるのは人生の宿命だ。大人になれば誰の心の中にも、喪失の悲しみが澱のように積もっている。過ぎ去っていく時間がかけがえない人の命、懐かしい風景、身体的な若さを私たちが奪っていくことを思うと、人生とは喪失の連続とも言える。

佐々涼子さんは、海外で客死した方の遺体を運ぶ仕事に従事する人々を描いた「エンジェルフライト 国際霊柩送還士」、東日本大震災の被災地を描いた「紙つなげ！彼らが本の紙を造っている」、在宅での終末医療を見つめた「エンド・オブ・ライフ」など優れた作品を手掛けてきたノンフィクション作家だ。あらゆる現場に足を運び、人々の姿と心のありようを真摯に伝えてきた。

本著は佐々さんが、ここ10年間さまざまな媒体に執筆したエッセイやルポルタージュをまとめた作品集だ。時に心がひきちぎられるような過酷な場面にも誠実に向き合ってきた佐々さん自身の逡巡や痛み、家族や友人との思い出が綴られている。

震災で半壊した工場で涙をこらえながら働く人々、外国人技能実習生たちのひたむきな姿・・・いのちの諸相を見つめ続けてきた作家の言葉は淡々としているが、優しさに満ちている。中でも家族について語った文章はあたたかい愛情が

にじむ。佐々さんの母親は神経性の難病に侵され、父親は10年以上、在宅で妻を介護した。笑顔で家事にいそむ面影を心に抱きながら、家族は延命措置をするか否かの判断を迫られる。その経験で学んだのは、ただ「生きていくこと」の意味だった、と佐々さんは振り返る。

母の死に向き合いながら、人の死に関する著作を執筆し、心も体もすり減ってしまった佐々さんは東南アジアの仏教施設やスピリチュアル・コミュニティをめぐる旅に出る。ジャスミンの花が咲き乱れる僧院や静かな森で瞑想し、祈りを深めても「悟り」は訪れない。

震災や事件・事故、貧困、差別・・・悲劇に満ち、時に無力感に打ちのめされる現代社会。佐々さんはそれでも、悩みながら書き続けることを選ぶ。「世の中は基本的に信じるに足りると思っっているし、それがなければ、こんな仕事を誰もしないのではないだろうか。私が書きたいのは、『それでも』のあとにやってくるものなのだ」との言葉は、喪失を抱きしめながらも生き続ける、人々へのエールのようにも聞こえる。

あとがきでは、佐々さん自身が脳腫瘍のため余命いくばくもないことが明かされる。残り少ない時間と向き合う希代のノンフィクション作家が今後どのような言葉を語るのか。耳をすませて待ちたい。



著者プロフィール： 佐々 涼子

ノンフィクション作家。1968年神奈川県出身。日本語教師を経てフリーライターに。「エンジェルフライト 国際霊柩送還士」（集英社、2012年）で第10回開高健ノンフィクション賞を受賞。「紙つなげ！彼らが本の紙を造っている 再生・日本製紙石巻工場」（早川書房、14年）で紀伊國屋書店キノベス！第1位、ダ・ヴィンチBOOK OF THE YEAR第1位、新風賞特別賞などに、「エンド・オブ・ライフ」（集英社インターナショナル、20年）が本屋大賞2020年ノンフィクション本大賞を受賞。そのほか入国管理問題取材した「ボーダー 移民と難民」（集英社インターナショナル、22年）など著書多数。



太田有紀 1979年相模原市生まれ。神奈川県新聞社統合編集局編成部記者。ブックイベント「本は港」ディレクター。文化部で読書面を担当していた2023年、県内の独立系書店や出版社が集まる催し「本は港」を企画。県内の書店・出版文化の振興に携わっている。





igoku(いごく) 創刊編集長
いわき市職員
猪狩僚さん

創刊おめでとういごくらします！

「人生のたとえ99%が不幸だったとしても、最後の1%が幸せなら、その人の人生は幸せなものに変わる」

マザーテレサの言葉です。この言葉に出会った僕は、逆だったらどうしようと思いましたが、人生の99%がメチャクチャ幸せだったとしても、最後の1%が自分の希望どおりじゃなかったら、その人の人生は不幸なものになっちゃうじゃん?!と。「最後の1%」、超大事だと思ひ、2017年に福島県いわき市で「igoku(いごく)いわきの方言で「動く」というプロジェクトを立ち上げました。

老いや死のタブーを乗り越えるをテーマに掲げ、ウェブやフリーペーパーによる情報発信と、年に一度、公園や劇場に棺桶を並べまくる「いごくフェス」という直接体験型イベントを両輪にプロジェクトを展開し、ありがたいことに、2019年にグッドデザインの金賞をいただきました。

市役所(の職員)が、しかも福祉の分野でグッドデザインを受賞するという珍しさもあって、全国各地からお声がけいただき、医療介護や福祉や文化やまちづくりなどについて、様々

な地域の方々との出会い、話し、飲んだりしてきました。そんな僕が太鼓判を押そう。

今、この日本で一番イケてる高齢者福祉系メディアは、この『いごや おおいそ』だ！

創刊号とは思えない、テーマ・読み応え・デザイン、いずれもが超ステキ。そして、様々な立場や職種の方々の視点がパランスよく盛り込まれているけれど、エピソードはみんな「大磯」のこと。どこか遠くの先進事例じゃなくて、このフリーペーパーを読んでいるあなたが暮らす街の話だ。登場する方々は、スーパーや海岸ですれ違っていたかもしれない、あなたの街の(人生の)バイセンだ。老いや死も同じように、どこか遠い話ではなく、もっと身近で、もっと日常の暮らしの中にあるんだと思う。大磯の、大磯による、大磯のための物語&メディア「いごや おおいそ」。

今号の「どう死にたい?」という特集に、ドキッとした人もいるかもしれませんが、僕が「いごく」で学んだ一番大事なことは、「よりよく死ぬことは、よりよく生きることにつながる」ということだ。人生は有限で、今日と同じ明日が永遠に続くわけでは

猪狩僚(いがり・りょう)さん 1978年福島県いわき市生まれ。大学卒業後、1年間ブラジル留学を経て、2002年にいわき市役所入庁。2016年に地域包括ケア推進課へ。翌17年に立ち上げた「いわきの地域包括ケアigoku」で19年グッドデザイン金賞およびファイナリスト5位受賞。また同年、コミュニティ食堂「いつだれ kitchen」を立ち上げる。21年『igoku本』を出版。現在は、地域医療課。



RYO IGARI

ないことを意識するきっかけとして、役所なのに棺桶を並べ、市民を棺桶にぶち込んできた(笑)。私もあなたもいつか死ぬ。お互いの人生や時間には限りがある。そんな当たり前のことを当たり前に意識する町民が増えれば増えるほど、大磯はもっともつといい街になる。

いわきも大磯もこれから10〜15年、厳しい状況が予想される。それでも人生の「最後の1%」を少しでもよりよいものにしていく。その思いのともしびだけは、ともに灯していきましょう。「いごや おおいそ」がその種火となるんだと確信しています。創刊、おめでとうございます。

なんでも相談してください！ 介護のこと・福祉のこと

大磯町町民福祉部福祉課

大磯町の介護・福祉のことなら、なんでもまずはご相談ください

場所 〒255-8555 神奈川県中郡大磯町東小磯183

電話番号 **0463-61-4100 (代)**

営業時間 月曜～金曜(祝日・年末年始は除く)
午前8時30分～午後5時15分

大磯町社会福祉協議会

大磯町に暮らす子供から高齢者までが、安心して自宅で生活できるよう各種社会福祉事業を実施しています。

場所 〒255-0003 大磯町大磯1352-1(町立福祉センターさざれ石内)

電話番号 **0463-61-9390**

営業時間 月曜～金曜(祝日・年末年始は除く)
午前8時30分～午後5時15分

地域包括支援センター

「地域包括支援センター」は、高齢者が住み慣れたまちでいつまでも暮らせるように、医療、介護、保険、福祉などの必要なサービスを受けることができるように包括的に支援する総合相談窓口です。地域包括支援センターの職員は、保険し、社会福祉士、主任ケアマネージャーなど、専門職。みんなが連携して業務に取り組みます。

地域包括支援センター【東部】

対象地域 高麗・東町・大磯・東小磯・西小磯

場所 大磯町立福祉センターさざれ石 2階

HP <https://www.shinseikai-roujin-kanagawa.jp/facilities/oiso-comprehensive-support-center/>

電話番号 **0463-61-9966**



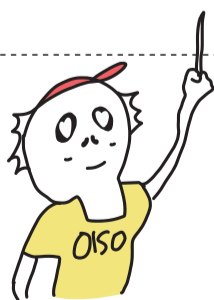
地域包括支援センター【西部】

対象地域 国府本郷・国府新宿・月京・生沢・寺坂・虫窪・黒岩・西久保・石神台

場所 横溝千鶴子記念障害福祉センター 2階

HP <https://kana.rakuraku.or.jp/oiso/cgsc/140007-cgsc-CH14341N0003>

電話番号 **0463-71-5595**



OISO
**FUKUSHI
& KAISO**

<発行> 大磯町社会福祉協議会

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯1352-1 TEL:0463-61-9390 FAX:0463-61-7614

- 企画 るーたー大磯(事務局:大磯町社会福祉協議会)
- 制作 森川正信 / 関内イノベーションイニシアティブ株式会社
- 編集・取材・文 太田有紀 | たけいしちえ ●撮影 八幡宏